

「香川県産オリーブ関連商品認証制度」 Q & A

【制度概要】

1 この制度の目的は何か。

香川県産オリーブ（以下、「県産オリーブ」という。）を使用した、県内事業者により生産・製造された農林水産物や加工食品、工芸品等の商品を、県が認証することにより、これらオリーブ関連商品を一体的にアピールすることにより、県産オリーブの認知度と本県のブランドイメージの向上を図り、全国トップにあるオリーブ産業の地位を確たるものとするを目的とした制度です。

具体的な手続きとしては、認証を受けることを希望する商品について、農林漁業者や製造業者等が、（一財）かがわ県産品振興機構（以下、「機構」という。）に申請を行い、認証を受けた商品には「認証マーク」が交付されます。

2 全国で特定の産品を使用した商品を認証する制度は、他にもあるのか。

一定要件を満たした地域の産品をブランド産品として認証する制度は、他の地方自治体にもありますが、特定の産品を使用した商品に限定して認証する制度はあまりないのではないかと考えられます。

3 認証期限はあるのか。

認証期限はありませんが、認証商品の状況について3年ごとに確認する予定です。

4 認証を受けたことによるメリットはあるのか。

認証を受けた商品パッケージやチラシなどに認証マークを使用することができます。

また、県産品紹介ポータルサイト「LOVE さぬきさん」に、商品の一覧を掲載して紹介するほか、県や機構のオリーブに関する事業で、認証された商品の催事を開催するなど、積極的にPRを行います。

【認証対象商品】

5 「県内で生産されたオリーブを直接的又は間接的に使用」とは、どのような意味か。

・「直接的に使用」とは

オリーブを形成する、幹、枝、葉、根、花、果実を原材料として直接使用することをいいます。

（例）オリーブの果実を塩水漬けた「新漬け」

オリーブの幹を加工した「コースター」

オリーブの葉を加工した「茶」など

・「間接的に使用」とは

上記の「直接的に使用」された製品を原材料等として使用すること（一次加工）や、さらに一次加工した製品を原材料として使用すること（二次加工）をいいます。

（一次加工の例）「オリーブオイルを混合したドレッシング」

「オリーブ由来の餌を給餌した畜水産物」など

（二次加工の例）「オリーブ牛肉のハンバーグ」

「オリーブ茶を添加した菓子」など

6 「間接的に使用」の場合に、オリーブの使用量に基準はあるのか。

オリーブの使用量に関する具体的基準は設けてはおりません。

ただし、例えば、オリーブの使用量が少量で最終製品への影響や効果が確認できない場合などは、認証にあたって開催される審査会（以下、「審査会」という。）において「県産オリーブのブランドイメージの向上への貢献」を期待することが難しいと判断され、認証されないことがあります。

7 「県産オリーブのブランドイメージの向上への貢献が期待できる」とは、どのような意味か。

県産オリーブは、香川県が誇るトップレベルのブランド産品であり、認証を受ける商品には、県産オリーブのブランド価値の向上に繋がるものであることが求められると考えています。

なお、「県産オリーブのブランドイメージの向上への貢献」については、審査会において、本県オリーブの知名度アップや好感づくり等に寄与できるようなオリーブの活用方法、商品の品質やデザインなどの観点から総合的に審査されます。

8 医薬品、美術品を対象外としているのはなぜか。

本制度は認証により、県産オリーブのブランドイメージの向上を図り、県産品であるオリーブの振興を図ることを目的としており、特定の目的を持つ医薬品や美術品は対象外としています。

9 オリーブオイルを対象外としているのはなぜか。

香川県では「かがわオリーブオイル品質評価・適合表示制度」を設けていることから、本制度では対象外としています。

10 オリーブ牛、オリーブ豚・オリーブ豚、オリーブ地鶏、オリーブハマチ・ブリ、オリーブマダイ、オリーブいりこを対象外としているのはなぜか。

これらの畜水産物については、県が開発やブランド化に深く関わったことから、本制度では対象外としています。なお、これらの商品を使用した加工食品は対象となります。

11 海外から輸入したオリーブを県内で加工してできたオリーブオイル等を使用した商品は、対象となるのか。

県内で加工したオリーブオイルであっても、原料となるオリーブ果実が県内産でない場合には対象となりません。

12 同一ジャンルの商品を、複数の県内事業者がそれぞれ販売している場合、認証されるのは最初に申請した県内事業者の商品のみとなるのか。

本制度は、個別の商品を認証する制度ですので、同一ジャンルの商品であっても、認証要件を満たせば、それぞれの商品が認証の対象となります。

【対象事業者】

13 県内事業者とはどの範囲か。

県内に事業所を置き、県産品の製造または販売を行う企業、個人、団体です。

14 県内事業者が県外で生産した商品も対象となるのか。

一部の工程が県内で行われている商品で下記いずれかに該当する場合は、認証の対象とします。
・製造加工の最終工程又は主要な工程が県内で行われていること。

・県内で開発された製法、技術等を主に用いて製造加工されていること。

製造事業者への発注や製造の流れも審査の対象となるので、「商品情報シート」に申請事業者及び製造事業者を記入のうえ、オリーブ生産者から製造事業者への納品書等の書類を添付して、提出して下さい。

なお、全工程が県外で行われている場合は、原則認証対象にはなりません。県内で企画、考案または開発された製法、技術等による製造加工が、申請者では困難と認められた場合には、例外的に認証対象とします。

【申請手続き】

15 申請窓口はどこか。

一般財団法人かがわ県産品振興機構（香川県交流推進部県産品振興課内）です。

住所：〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号 香川県交流推進部県産品振興課内

TEL：087-832-3383 FAX：087-806-0237 メール：kensanpin@pref.kagawa.lg.jp

16 申請はいつでもできるのか。

令和8年6月1日(月)から8月20日(木)までの期間内に申請してください。

17 手数料は無料とのことだが、申請に係る経費はあるのか。

申請書及び添付資料の作成に要する経費や送料などは、申請者の負担となります。

18 申請できる商品数に制限はあるのか。

1 事業者当たりの申請できる商品数の制限はありません。

19 複数の商品を申請する場合、1枚の申請書にまとめてよいか。

1 商品ごとに申請書を作成してください。

20 同一商品で、サイズや色、デザインが異なるものを販売している場合、それぞれ申請を行う必要があるのか。

当初の申請に際して、同一商品であれば申請書に複数の商品を記載して申請できます。

なお、新たに異なるサイズや色、デザインの商品を販売する場合は、あらためて申請を行う必要はありませんが、書面による届け出をお願いします。

21 「生産・製造の過程で、県産オリーブが使用され、申請者がそれを立証」とは、具体的にはどのような手続きが必要か。

申請にあたり、県産オリーブの生産者から県産オリーブを仕入れたことがわかる伝票や証明書等の添付が必要です。

なお、間接使用の場合であっても、同様に伝票や証明書の添付が必要ですが、オリーブ生産者から書類を取り寄せる事が困難な場合は、別途ご相談ください。

22 「商品の製造過程等において、品質・衛生管理等が適正に行われていること」は、現地確認が行われるのか。

申請に必要な書類が適正に提出されない場合、または、提出された書類に疑義が見られる場合は、必要に応じて現地調査や関係機関への照会を行う場合があります。

23 「商品情報シート」の記載方法が分からない。

記載例をご活用ください。

24 県産オリーブを使用しなくなった場合には届出が必要か。

認証対象商品は、県産オリーブを使用している商品なので、県産オリーブを使用しなくなった場合には直ちに届出が必要です。

なお、この場合は認証を取り消すこととなりますので、以後、当該商品に認証マークを使用することはできません。県産オリーブを再び使用するようになった場合には、改めて申請していただく必要があります。

【認証マークの表示】

25 認証マークは、どのように提供されるのか。

認証事業者には、電子データで提供します。認証マークの表示方法は、商品パッケージへの刷り込み、シールでの貼付を問いませんが、刷り込み、シールの作成は認証事業者自身で行っていただきます。なお、そのための費用は認証事業者による負担となります。

26 認証マークのみを自社のホームページ等に掲載することは可能か。

認証マークをホームページや SNS 等で掲載される場合は、申請窓口(機構)へご連絡ください。認証マークの不正使用防止のため、ご協力をお願いいたします。

また、認証マークの使用にあたっては、「香川県産オリーブ関連商品認証マーク取扱要領」に沿った運用をお願いします。